

京都観光入門

紅葉ゆるる東山



観光都市・京都。修学旅行で京都を訪れて憧れ、京都大学に入学した人もいないのでしょうか？ でも、いざ大学生生活が始まると時間がなくて、観光名所を訪れることができない人もいるかもしれません。

しかし、比較的京大に近い東山地区にも、観光名所が多数あ

ります。ここでは紅葉の季節におすすめで、哲学の道から永観堂、南禅寺、そして蹴上インクラインにいたるルートを紹介いたします。空きコマを利用して観光に行くこともできます。

右ページの観光マップも是非参考にしてください。

(びよん吉)

京大から今出川通りを東へ進み、白川通今出川の交差点を過ぎると、哲学の道にさしかかる。西田幾多郎らが好んだことから、「思索の小径」と呼ばれていたのが、いつしか「哲学の道」と呼ばれるようになった。琵琶湖疎水に沿って、小径を南に向かって歩いていく。疎水の脇に楓が立ち並び、さながら紅のトンネルとなっている。有名な観光地であるため、紅葉の美しい11月には大勢の人でにぎわっている。

しかし、小径から一歩外れると、落ち着いた静かな雰囲気のある場所に出ることができる。最初に訪れることができるのが、法然院。哲学の道からそれると見える紅葉は、笹の緑の葉と絶妙なコントラストを生み出している。奥に入ると、楓と銀杏が砂盛の上に散っておりこれも見所である。

帰りの行程は…

電車を利用する場合

蹴上駅から地下鉄東西線で三条京阪駅まで200円。京阪三条から出町柳まで、210円。蹴上から出町柳まで5分(乗り換え時間は計算していません)。

バスを利用する場合

南禅寺・永観堂道バス停から5号系統で東山三条へ。206号系統に乗り換え京大正門前まで、220円。



さて、哲学の道は途中から砂利道へと変わる。ところどころに散策記念の絵馬や土鈴が売られており、人力車での観光もできる。静かな林の中を抜け、若王子神社で終点となる。

ここからは閑静な町並みを通して、永観堂・南禅寺をめぐる。永観堂も紅葉の名所。道すがら、茶店や湯豆腐店に立ち寄って紅葉を眺めるのもよいだろう。南禅寺から南へ行くと、地下鉄蹴上駅に出ることができる。駅に出る手前には、蹴上インクラインの下をくぐるトンネルがある。近くにある坂を上れば、インクラインの上に出ることができる。

全行程所要時間：約1時間20分

(うち、哲学の道を歩くのには約40分かかります)

はみだしすてーじ

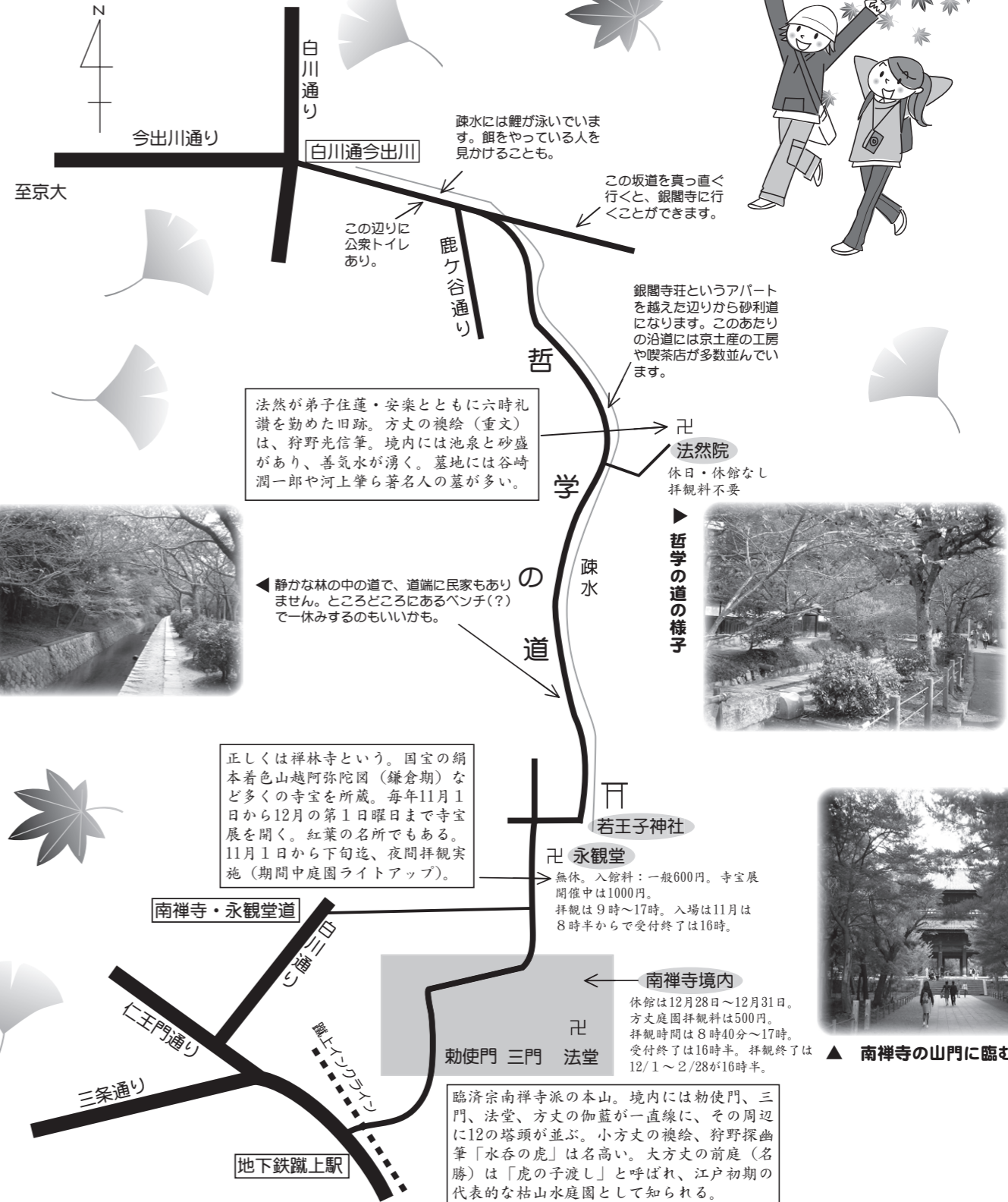
最近やっとおすぎとピーコの区別がつくようになりました。
⇒かつての加護と辻、ゲルググとリゲルグ、水野美紀と水野真紀と坂井真紀と酒井美紀、マイケル・ジョーダンとマイケル・ジョンソンとマイク・タイソンとマジック・ジョンソン。

(文・他 テツorトモ)
⇒今川焼きはてっきり今川さんをもやしているかと……

はみだしすてーじ

大文字焼きは木をもやしていると思っていた。
⇒今川焼きはてっきり今川さんをもやしているかと……

(理・1 大澤典紗)
(思うわけがない編)



静かな林の中の道で、道端に民家もあります。ところどころにあるベンチ(?)で一休みするのもいいかも。



哲学の道の様子



▲ 南禅寺の山門に臨む